



平成22年2月期 第1四半期 決算説明資料

平成21年7月9日

【東証マザーズ 証券コード3093】



Treasure Factory
Style

「喜び」「発見」「感動」を提供するリサイクルショップ
株式会社トレジャー・ファクトリー

目次

■ 平成22年2月期 第1四半期決算概要	P 3
■ 当期の取組と業績見通し	P 1 3
■ TOPICS	P 1 6
■ 株主様への還元について	P 2 1
補足資料	P 2 5

当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
また、資料の内容は資料作成時に弊社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。
投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

各種メディアへの登場

エコ意識と生活防衛意識・節約志向の高まりから、当社が属する中古品小売業業界への注目度は高く、当社の展開するリユース事業も多くのメディアに取り上げられました。下記に代表的なものをご紹介します。（2009年1月～2009年6月）

■2009年7月7日
『ひるオビ』TBSテレビ

■2009年6月15日
『ドキュメンタリ宣言』テレビ朝日

■2009年6月24日
『サービス&エンターテインメント面』日本流通新聞

■2009年6月22日
雑誌『週刊ダイヤモンド』

■2009年6月10日
『1面』織研新聞

■2009年6月1日
雑誌『AERA』

■2009年5月20日
『やじうまプラス』テレビ朝日

■2009年5月18日
『News & Analysis』週刊ダイヤモンド

■2009年5月15日
日本経済新聞

■2009年5月2日
『家計の知恵』読売新聞

■2009年4月26日
『サンデースクランブル』テレビ朝日

■2009年4月26日
『サキヨミLIVE』フジテレビ

■2009年3月17日
『日経スペシャルガイアの夜明け』テレビ東京

■2009年4月21日
雑誌『財界』『経営写』

■2009年4月21日
雑誌『経済界』

■2009年4月17日
『サービス&エンターテインメント面』日本流通新聞

■2009年4月2日
『都内版』毎日新聞

■2009年3月28日
『一面』日本経済新聞(夕刊)

■2009年3月24日
『おはよう日本』NHK

■2009年3月19日
『笑っていいとも!』フジテレビ

■2009年3月10日
『めざましテレビ』フジテレビ

■2009年3月4日
『「格安」ヒット商品 & 買いのスコ技』日経トレンディ

■2009年3月2日
『はなまるマーケット』TBSテレビ

■2009年2月24日
『デジペディアトレンド』週刊SPA! 3月3日号

■2009年2月23日
『春の「お片付け」大作戦★』ViVi 4月号

■2009年2月20日
『汐留リーダーズEYE』日本テレビ

■2009年2月16日
『ラジかるッ』日本テレビ

■2009年2月16日
『特集内需を創れ』日経ビジネス

■2009年2月15日
『縮む消費縮まぬ会社』日経ヴェリタス

■2009年2月11日
『総合4面』フジサンケイビジネスアイ

■2009年2月7日
『捨てるから始めるオシャレ計画』AneCan

■2009年2月2日
『ドキュメント・ナウ』TBSテレビ

■2009年1月29日
『スーパーJチャンネル』テレビ朝日

■2009年1月21日
『匠ファイル』日本流通新聞【日経MJ】

■2009年1月19日
『ニュースウオッチ9』NHK総合テレビ

■2009年1月13日
『ズームイン!!SUPER』日本テレビ

平成22年2月期 第1四半期決算概要

損益計算書概要

サマリー

**売上高1,255百万円、前年同期比27%増。
経常利益102百万円、前年同期比68%増。**

(単位:千円)

	平成21年2月期 第1四半期	平成22年2月期 第1四半期	前年同期比	平成21年2月期
売上高	981,363	1,255,065	127.9%	4,242,894
売上総利益	644,024	831,933	129.2%	2,713,698
(売上総利益率)	65.6%	66.3%	—	64.0%
販管費	582,689	729,073	125.1%	2,492,275
営業利益	61,334	102,859	167.7%	221,423
(営業利益率)	6.2%	8.2%	—	5.2%
経常利益	61,146	102,763	168.1%	221,665
(経常利益率)	6.2%	8.2%	—	5.2%
四半期(当期) 純利益	34,537	45,303	131.2%	118,226
(四半期純利益率/ 当期純利益率)	3.5%	3.6%	—	2.8%

POINTS

売上高は前年同期比27.9%の増収。

新店売上及び前期出店店舗の増収効果に加え、既存店も前年同期を上回る売上を達成。

売上総利益率は66.3%となり、前年同期に対し0.7%上昇。

販売費及び一般管理費は概ね予定どおり推移。

経常利益率は8.2%となり、前年同期に対し2.0%上昇した。

商品別仕入実績・事業別商品別販売実績

● 商品別仕入実績（単位：千円）

品目	仕入高	構成比	前年同期比
生活雑貨	52,234	11.4%	85.9%
衣料・服飾雑貨	176,168	38.6%	114.2%
電化製品	142,100	31.1%	130.0%
家具	37,885	8.3%	113.7%
ホビー用品	29,617	6.5%	109.9%
その他	18,290	4.1%	105.0%
合計	456,296	100.0%	113.5%

● 事業別商品別販売実績（単位：千円）

事業	品目	売上高	構成比	前年同期比
直営事業	生活雑貨	181,388	14.5%	109.8%
	衣料・服飾雑貨	457,217	36.4%	137.0%
	電化製品	377,122	30.0%	136.1%
	家具	147,037	11.7%	115.7%
	ホビー用品	88,745	7.1%	125.7%
	その他	919	0.1%	16.0%
	小計	1,252,430	99.8%	127.9%
FC事業		2,634	0.2%	127.6%
合計		1,255,065	100.0%	127.9%

POINTS

衣料・服飾雑貨、電化製品の売上が前年同期比130%超の伸び

出張買取や電化製品の法人仕入が好調に推移したことから、電化製品が前年同期比136.1%の増収となった。

衣料・服飾雑貨では、前年同期に比べ、貴金属の比率が低下した。

店舗区分別売上・利益 前期対比

● 売上高

区分	20年2月期以前 出店店舗	21年2月期 出店店舗	22年2月期 出店店舗
前年同期比	102.9%	1376.5%	—

● 売上総利益

区分	20年2月期以前 出店店舗	21年2月期 出店店舗	22年2月期 出店店舗
前年同期比	104.2%	1694.0%	—
売上総利益率	66.7%	66.6%	61.4%
前年同期差	0.8%	12.5%	—

● 営業利益

区分	20年2月期以前 出店店舗	21年2月期 出店店舗	22年2月期 出店店舗
前年同期比	114.3%	— (※)	—
営業利益率	24.9%	22.4%	-37.6%
前年同期差	2.5%	— (※)	—

(※)前期の営業利益が赤字であるため、表示しておりません。

POINTS

既存店、前期出店店舗ともに売上、利益順調に推移

既存店(20年2月期以前出店店舗)は、売上高は前年同期比2.9%の増収、売上総利益率は66.7%となり、前年同期に対し0.8%上昇。営業利益率は前年同期に対し、2.5%上昇。

前期出店店舗も売上総利益率が66.6%、営業利益率が22.4%と既存店に近い水準を達成した。

既存店の状況

既存店：20年2月期以前出店店舗

(単位：千円)

	平成21年2月期 第1四半期	平成22年2月期 第1四半期	前年同期比
既存店の買取件数(件)	69,153	81,527	117.9%
既存店の一般買取額(千円)	258,545	237,714	91.9%
既存店の一般買取単価(円)	3,739	2,916	—
既存店の販売件数(件)	284,033	324,178	114.1%
既存店の売上高(千円)	952,081	980,103	102.9%
既存店の販売単価(円)	3,352	3,023	—

POINTS

**既存店の買取・販売ともに
件数は増加、単価下落**

当社のメディア露出増加による
知名度向上も後押し、買取・販売と
もに前年同期に対し、件数が10%
以上の伸び。

前年同期に取扱高が大きかった貴
金属の取扱比率が低下したことも
あり、買取、販売ともに1件あたり
の単価は下落した。

販売費及び一般管理費の推移

(単位:千円)

	平成21年2月期 第1四半期	平成22年2月期 第1四半期	前年同期比	平成21年2月期
人件費	271,632	365,911	134.7%	1,173,117
対売上高比率	27.7%	29.2%	—	27.6%
賃借料	118,566	150,907	127.3%	526,207
対売上高比率	12.1%	12.0%	—	12.4%
広告宣伝費	30,984	23,549	76.0%	100,929
対売上高比率	3.2%	1.9%	—	2.4%
その他	161,505	188,705	116.8%	692,020
対売上高比率	16.5%	15.0%	—	16.3%
販管費合計	582,689	729,073	125.1%	2,492,275
対売上高比率	59.4%	58.1%	—	58.8%

POINTS

**対売上高比率は58.1%、
前年同期比1.3%減少**

新規出店に伴う人員増加等により人件費の対売上高比率は上昇。広告宣伝費は前年同期に比べると支出抑制、求人広告費は計画を上回って発生した。

貸借対照表概要

(単位:千円)

	平成21年2月期末	平成22年2月期 第1四半期末	前期末増減額	平成21年2月期 第1四半期末
流動資産	976,730	1,106,355	129,624	844,393
(構成比)	54.5%	56.7%	—	54.1%
固定資産	815,283	843,595	28,311	715,846
(構成比)	45.5%	43.3%	—	45.9%
総資産	1,792,014	1,949,950	157,936	1,560,240
流動負債	645,439	745,507	100,068	483,029
(構成比)	36.0%	38.2%	—	31.0%
固定負債	294,012	328,195	34,183	315,836
(構成比)	16.4%	16.8%	—	20.2%
負債合計	939,451	1,073,702	134,251	798,865
(構成比)	52.4%	55.1%	—	51.2%
株主資本	852,563	876,248	23,685	761,374
自己資本比率	47.6%	44.9%	—	48.8%

POINTS

**総資産は前期末に比べ
157, 936千円増加。
自己資本比率は44. 9%。**

当第1四半期会計期間末における資産合計は、現金及び預金が100,841千円増加したこと及び商品が32,355千円増加したこと等により、前期と比較して157,936千円増加し、1,949,950千円となった。

当第1四半期会計期間末における負債合計は、未払法人税等が34,292千円減少した一方で、短期借入金が71,502千円増加したこと等により、前期末と比較して134,251千円増加し、1,073,702千円となった。

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、当第1四半期会計期間に計上した四半期純利益により利益剰余金が45,303千円増加したこと等により、前期末と比較して23,685千円増加し、876,248千円となった。

キャッシュ・フロー計算書概要

(単位:千円)

	平成21年2月期 第1四半期	平成22年2月期 第1四半期	前年同期 増減額	平成21年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	-45,314	56,922	102,236	85,069
投資活動によるキャッシュ・フロー	-57,821	-59,793	-1,972	-186,957
財務活動によるキャッシュ・フロー	-16,023	103,713	119,736	32,802
現金及び現金同等物の増減額	-119,158	100,841	220,000	-69,085
現金及び現金同等物の期末残高	205,605	356,520	150,915	255,678

POINTS

営業活動によるキャッシュ・フロー
 税引前四半期純利益 +83,846千円
 減価償却費 +17,853千円
 たな卸資産の増加額 △32,761千円
 法人税等の支払額 △61,140千円

投資活動によるキャッシュ・フロー
 有形固定資産の取得による支出
 △38,307千円
 敷金保証金の支払による支出
 △17,955千円

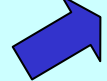
財務活動によるキャッシュ・フロー
 短期借入金の純増減額 +71,502千円
 長期借入れによる収入 +90,000千円
 長期借入金の返済による支出
 △40,281千円

売上総利益率の改善

前期第4四半期に落ち込んだ売上総利益率は回復

既存店・全社の売上総利益率推移

※既存店(20年2月期以前出店店舗)

	21年2月期 第1四半期	22年2月期 第1四半期	平成21年2月期 (通期)
既存店	65.9%	66.7% 	65.1%
全社	65.6%	66.3% 	64.0%

売上総利益率の改善の要因

- ◆前年同期には原価率の高い貴金属の売上が大きかったが、当第1四半期会計期間はそれらの商品の比率が低下した。
- ◆一般買取が好調に推移し、利益率が改善した。

平成20年2月期出店店舗の利益改善

前期は利益計画未達だったが、第1四半期は業績回復

平成20年2月期出店店舗の営業利益率推移

平成21年2月期 第1四半期	平成21年2月期 下半期	平成21年2月期	平成22年2月期 第1四半期
10.1%	15.1%	12.0%	21.6% 

平成20年2月期出店店舗について

◆平成20年2月期に埼玉県に5店舗を集中出店。前期は、一部の店舗で店舗知名度が十分に上がらず、利益計画未達成。

当第1四半期会計期間の動向

◆メディア露出の効果も手伝い、業績不調であった店舗の認知度が向上し、売上好調に推移。

◆売上総利益率も上昇し、営業利益率21.6%となった。

当期の取組と業績見通し

業績予想

POINTS

前期及び当期の出店店舗の利益貢献や既存店利益率改善により増収増益を見込む

(単位:百万円)

	平成22年2月期 第2四半期 累計期間予想	前年同期比	平成21年2月期 中間期実績	平成22年2月期 通期予想	前期比	平成21年2月期 実績
売上高	2,430	123.4%	1,968	4,950	116.7%	4,242
営業利益	122	182.1%	66	252	114.1%	221
(営業利益率)	5.0%	—	3.4%	5.1%	—	5.2%
経常利益	122	182.8%	66	250	113.0%	221
(経常利益率)	5.0%	—	3.4%	5.1%	—	5.2%
当期純利益	66	185.7%	35	119	101.0%	118
(当期純利益率)	2.7%	—	1.8%	2.4%	—	2.8%
1株あたり当期純利益 (円)	5,495.42	—	2,997.77	9,944.62	—	9,965.15

※平成21年4月14日に公表いたしました平成22年2月期の第2四半期累計期間の業績予想を修正しております。
詳しくは、平成21年7月9日に公表いたしました「平成22年2月期第2四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
通期の業績予想につきましては、は平成21年4月14日に公表しました業績予想から変更しておりません。

平成22年2月期計画達成に向けた取組項目

具体的な取組項目		
既存店強化 売上総利益率回復	総合リサイクルショップ 業態の新規出店 5～6店舗を計画	服飾専門リサイクルショップ 業態の新規出店 1～2店舗を計画
その他の 取組み	新規業態の開発	
	インターネットでのリユース家電の本格販売	
	リサイクルショップポータルサイト「うるハピ」の展開強化	

全社的
テーマ

多店舗展開モデルの確実な推進

- 着実な店舗展開による収益基盤の拡大
- 一店舗、一店舗を確実に育て、利益を積み重ねていく



TOPICS

新規出店の進捗

当期は7－8店舗の出店を予定。平成21年4月に東久留米店、6月に川崎野川店をオープン。8月に中央林間店オープン予定。



H21年4月オープン
東久留米店



H21年6月オープン
川崎野川店

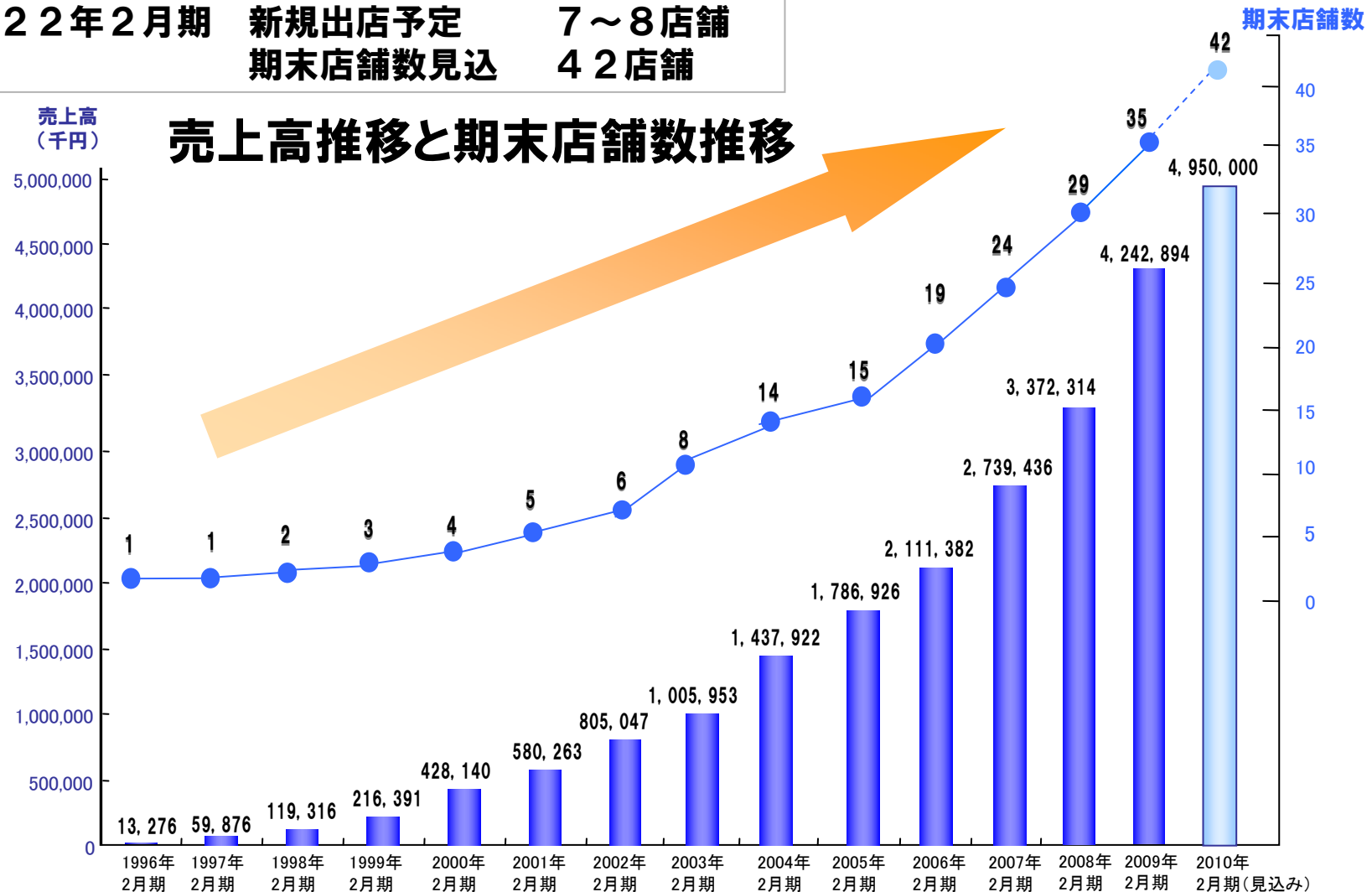
新規店舗は順調な立ち上がり

◆メディア露出の効果も手伝い、東久留米店、川崎野川店ともに好調な立ち上がり。川崎野川店は過去最高のオープン日売上を記録した。

出店環境と当期出店計画

上場効果やメディアへの露出等による当社の認知度向上に伴い、
新規出店の候補物件は増加傾向

平成22年2月期 新規出店予定 7～8店舗
期末店舗数見込 42店舗



中古携帯電話取扱い全店拡大

平成21年1月より本格スタートした
中古携帯電話の買取・販売は、
トレジャーファクトリー全店に拡大。

家電、家具、衣料、生活雑貨、ブランド品、
楽器、ホビー用品など様々なカテゴリーの
リユース品を取扱う総合リサイクルショップ
「トレジャーファクトリー」に新規カテゴリーを
導入。早期育成を目指す。

春日部店の携帯電話売り場



中古家電のネット販売好調

リユース家電のネット販売を 本格的にスタート

リユース家電のネット通販サイトを平成21年2月
にリニューアル、ネット販売を本格化。
平成21年3月以降、計画を上回る売上を達成し、
順調な立ち上がりを見せた。

リサイクル家電のインターネット通販サイト
<http://www.treasure-f.com/leaseup/>

5月15日にはカーボンオフセット付きのリユース
家電のネット販売を開始

HOME 販売方針 トレジャー商品のここが魅力! 商品到着までの流れ よくあるご質問

リサイクル家電
家電4点セット
冷蔵庫・洗濯機・テレビ・電子レンジ
39,800円

リサイクル家電
家電3点セット
冷蔵庫・洗濯機・電子レンジ
34,800円

リサイクル家電
家電3点セット
冷蔵庫・洗濯機・テレビ
37,800円

単品販売
▶ 中型冷蔵庫 14,800円

50セット限定!! カーボンオフセットパッケージプラン
カーボンオフセット
家電4点セットで39,900円
(送料・設置費・消費税込み)

■ECOに心のある方におすすめ■
こちらの家電4点セットを1セットご購入いただくことで、
当社のカーボンオフセットに必要となるCO₂排出権を購入。
家電使用時に排出される約36ヶ月分のCO₂をオフセット致します。

冷蔵庫・洗濯機・テレビ・電子レンジ 4点セットで... 39,900円(税込)
注)設置内容については商品毎に異なりますのでご注意ください。
4点セットの場合は家電・家電・家電・家電の4点セットで対応いたします。
※設置は別途料金となります。
※設置料・設置費・代引き手数料込みです。
※お支払いは「お支払いの月」となります。予めご了承ください。
※6ヶ月保証付です。詳しくは「安心保証について」をご覧ください。

他社との提携による買取強化

【株式会社ノジマとの取組】平成21年6月より

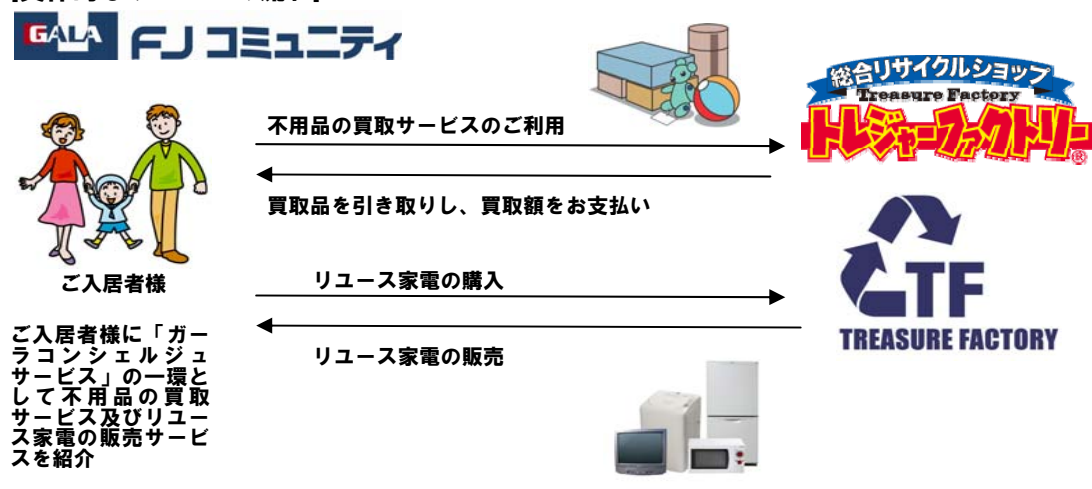
[具体的なサービスの流れ]



今回の提携により、当社はノジマ社が展開する店舗を通じて、顧客が保有する不要となった家電製品を効率的に仕入れることが可能となり、ノジマ社は、顧客に対し、不要な家電製品の下取りサービスを提供することが可能となりました。

【株式会社エフ・ジェー・コミュニティとの取組】平成21年6月より

[具体的なサービスの流れ]



今回の提携により、FJコミュニティは、「ガーラコンシェルジュサービス」の一環として、同社の東京都内を中心とした賃貸管理物件1万戸超のご入居者様に対し、当社の不用品の買取サービス及びリユース家電の販売サービスの紹介を開始。不用品買取サービスの利用により、FJコミュニティのご入居者様は、引越し時の不用品を効率的に処分することが可能となり、また、引越し時に新たに必要となる家電製品についてはリユース家電の利用を促進していくことが可能となりました。

株主様への還元について

株主還元の基本方針と当期配当予想

株主還元の基本方針

株主還元と内部留保の充実による財務基盤強化のバランスを勘案した配当の実施に加え、株主優待制度を新設し、当社株式への投資魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ってまいります。

平成22年2月期 配当予想

平成22年2月期の配当につきましては、1株当たり1,800円の期末配当を予定しております。

なお、平成21年2月期は、1株当たり1,800円の期末配当を実施いたしました。

※業績の推移により適宜配当金額は見直しを行います。

期末配当予想 ： 1株あたり1,800円

株主優待の新設について



平成21年2月期より株主優待を開始いたしました。

1株以上保有の株主様に対し、下記のものをセットにした「トレジャーチケット」を贈呈いたします。(割当基準日2月)

トレジャーチケット内容

1 オリジナルクオカード
1,000円分



※右記はイメージで実際のものとは異なります。

2 プレゼント抽選券

オリジナルクオカードとともに、全ての株主様を対象にしたプレゼント抽選券「トレジャーロト」をお送りします。年1回抽選を行い、当選された株主様には、当社スタッフが毎年厳選してご用意する賞品を贈呈いたします。



※上記はイメージで実際のものとは異なります。

3 買取金額アップクーポン券

当社の店舗及び宅配買取サービスにてご利用いただくことができる買取金額アップクーポンを贈呈いたします。不用品を当社にお売りくださった株主様は、このクーポンをご提示いただくことにより、通常の査定額に一定割合を上乗せして、買取させていただきます。

※一部の商品については、買取金額アップクーポン券の利用対象外とさせていただきますので、ご了承ください。



※上記はイメージで実際のものとは異なります。

優待の贈呈時期並びにプレゼント抽選券及び買取金額アップクーポンの詳細などについては、別途お知らせいたします。

平成21年2月期は
「トレジャーロト」賞品として
1等から3等まで
ご用意いたしました。

1等 下記賞品を抽選でそれぞれ
1名の方に贈呈

携帯テレビ SONY
BRAVIA XDV-W600

お掃除ロボ CCP
SO-Zi CZ-901R

折り畳み自転車
DOPPELGANGER202

2等 下記賞品を抽選で5名の方
に贈呈

体重体組成計 オムロン
Karada Scan701 HBF-701

3等 下記賞品を抽選で10名の方
に贈呈

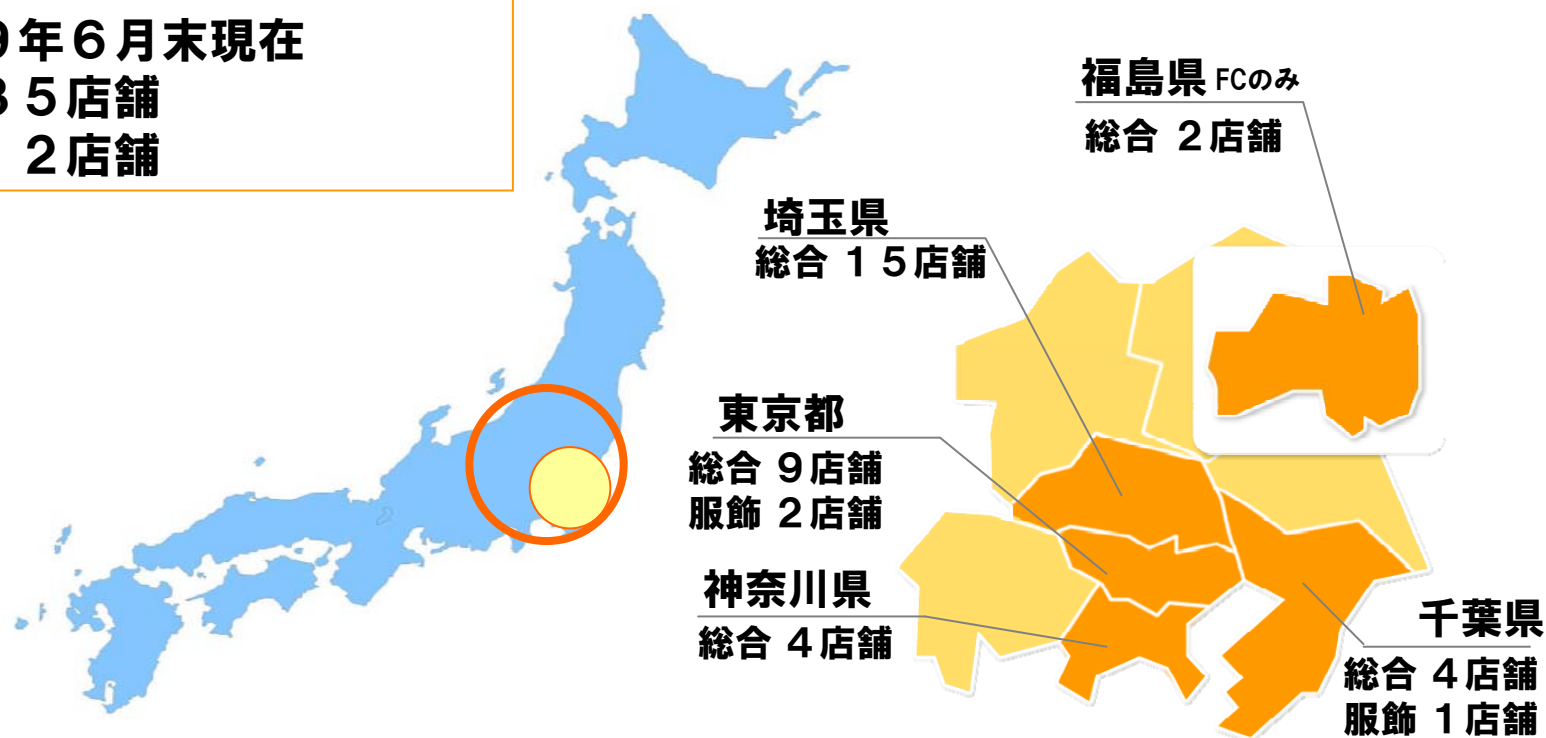
歩数計 シチズン
デジタル歩数計 Peb TW600

将来目標

中期目標

1都3県を中心にドミナント出店により
店舗網を拡大していきます。

2009年6月末現在
直営 35店舗
FC 2店舗



※総合: 総合リサイクルショップ「トレジャーファクトリー」
服飾: ユーズドセレクトショップ「トレジャーファクトリースタイル」

長期 目標

徳川幕府を超える300年続く会社を目標に、持続的に成長し、
世界規模でリサイクルビジネスを展開する

補足資料

会社概要 / 経営理念

会社概要

(平成21年5月末現在)

会社名	株式会社トレジャー・ファクトリー	創立	平成7年5月25日(1995年5月25日)
代表者	代表取締役社長 野坂 英吾	本社所在地	東京都足立区梅島三丁目32番6号
従業員数	201名(パートタイマー等は含まれておりません)	資本金	235,450千円
決算月	2月	発行済株式数	12,010株

事業内容

リサイクルショップの運営 店舗数：1都4県に37店舗

➤直営店：35店舗 総合リサイクルショップ「トレジャーファクトリー」：32店舗
ユーズドセレクトショップ「トレジャーファクトリースタイル」：3店舗

➤FC店：2店舗

リユース品のインターネット販売・買取

Webサイトの運営

会社案内サイト (<http://www.treasurefactory.co.jp/>)

店舗案内サイト (<http://www.treasure-f.com/>)

買取サイト (<http://www.treasurekaitori.com/>)

スタイルWeb(ユーズドセレクトショップ) (<http://www.tf-style.com/>)

中古・リサイクルショップ検索コミュニティサイト「うるハピ」 (<http://www.uruhapi.com/>)

経営理念

トレジャーファクトリーは人々に 喜び・発見・感動 を提供します

社名

(宝物の工場)「価値の再生工場」

トレジャー・ファクトリー

そこでしか買えない一品モノを豊富に取り揃え

お客様は、不用品を売るのも買うのもワンストップ

買う喜びと売る喜び、他にない一品モノの商品を発見する楽しさを提供する

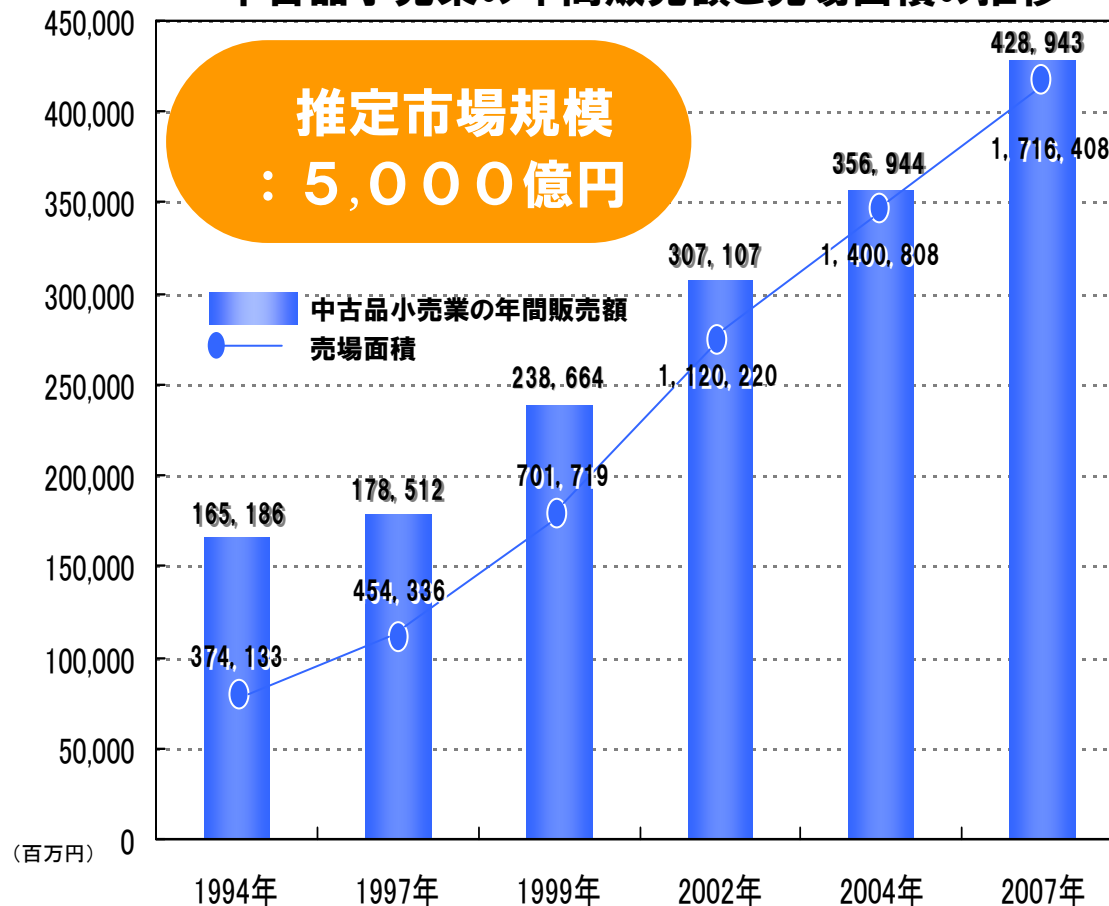
沿革

- 1995年 5月 神奈川県横浜市に有限会社トレジャー・ファクトリーを設立。
- 1995年10月 東京都足立区舎人に当社第1号店となる総合リサイクルショップ「トレジャーファクトリー足立本店」を開店。
- 1998年11月 埼玉県に初進出。埼玉県草加市に「トレジャーファクトリー草加店」を開店。
- 1999年12月 資本金を1,000万円に増資し、株式会社に組織変更。
- 2000年 9月 東京都足立区入谷に物流センターを開設。
- 2002年 5月 東京都足立区竹の塚に本社を移転。
- 2003年 2月 東京都足立区入谷に物流センターを拡張移転。
- 2003年 3月 神奈川県に初進出。神奈川県横浜市に「トレジャーファクトリー鶴見店」を開店。
- 2004年 7月 F C事業を開始。福島県いわき市にF C 1号店「トレジャーファクトリーいわき鹿島店」を開店。
- 2006年 1月 千葉県に初進出。千葉県千葉市に「トレジャーファクトリー若葉みつわ台店」を開店。
- 2006年10月 取り扱い品目を衣料・服飾雑貨等に絞った新業態店舗事業を開始。
千葉県千葉市にユーズドセレクトショップ「トレジャーファクトリースタイル フレスポ稲毛店」を開店。
- 2007年12月 東京証券取引所マザーズに株式を上場。
- 2008年 2月 東京都足立区梅島に本社を移転。

事業環境～拡大を続ける中古品マーケット～

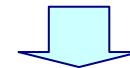
中古品小売業界は、エコをキーワードにした環境意識の高まりに加え、景気動向が厳しくなる中で、より良いものを安く購入したいという消費者ニーズの強まりから、その市場規模は引き続き、拡大が予想される。

中古品小売業の年間販売額と売場面積の推移



成長の原動力3つの側面

- ①質の良い中古品の供給量の厚みが増加
- ②当社を初めとした中古品販売ビジネスの進化
- ③節約志向や環境意識の強まりといった消費者意識の変化



家電や衣料品などを中心
に今後も成長

*日本経済新聞2009年4月10日より抜粋

*経済産業省「商業統計」より作成

事業内容 店舗業態の紹介



総合リユース業態

総合リサイクルショップ「トレジャーファクトリー」

直営
32店舗
(FC2店舗)

「トレジャーファクトリー」は、当社の主力業態で、平成21年6月末現在、1都3県に直営店32店舗、福島県にFC店舗を2店舗展開しています。



Treasure Factory
Style

服飾専門リユース業態

ユーズドセレクトショップ「トレジャーファクトリースタイル」

直営
3店舗

「トレジャーファクトリースタイル」は、衣料・服飾雑貨専門のリサイクルショップとして、ユーズドのウェア、時計、バッグ、アクセサリ、シューズ、アウトドアブランドなどを取り揃えた新感覚のユーズドセレクトショップです。



事業内容 店舗紹介 【平成21年2月期 新規出店店舗】

平成21年2月期は東京都、千葉県を中心に6店舗出店。

総合リサイクルショップ 5店舗出店
ユーズドセレクトショップ 1店舗出店



H20年4月オープン鶴瀬店



H20年5月オープン立川日野橋店



H20年7月オープン南柏店



H20年8月オープン 高円寺店
(ユーズドセレクトショップ)



H20年9月オープン 北越谷店



H20年12月オープン 南大沢店

新店TOPICS

■南柏店（20年7月 OPEN）

JR南柏駅隣接の複合施設に総合リユース業態初のモール出店

■南大沢店（20年12月 OPEN）

当社最大級店舗を八王子にオープン。
総合リサイクルショップとして高い集客力を誇る。

■高円寺店（20年8月 OPEN）

ユーズドセレクトショップを高円寺駅徒歩5分の立地に出店し、服飾専門リユース業態初の都心型路面店の出店

事業内容 取扱商品カテゴリーの紹介

生活雑貨



衣料・服飾雑貨



電化製品



事業内容 取扱商品カテゴリーの紹介

家具



ホビー用品



当社のビジネスモデル

豊富な仕入チャネル

一般買取

持込買取

出張買取

宅配買取

法人仕入

(新品・中古品取扱業者 古物市場)

当社の事業規模拡大に伴い、事業会社からの不用品の買取依頼が増加。

店舗モデルのパッケージ化による多店舗展開



大型店モデル

総合リサイクルショップ
「トレジャーファクトリー」

中型店モデル

小型店モデル

ユーズドセレクトショップ
「トレジャーファクトリースタイル」

Treasure Factory
Style

「総合リサイクル」ならではの
「幅広い顧客ターゲット」

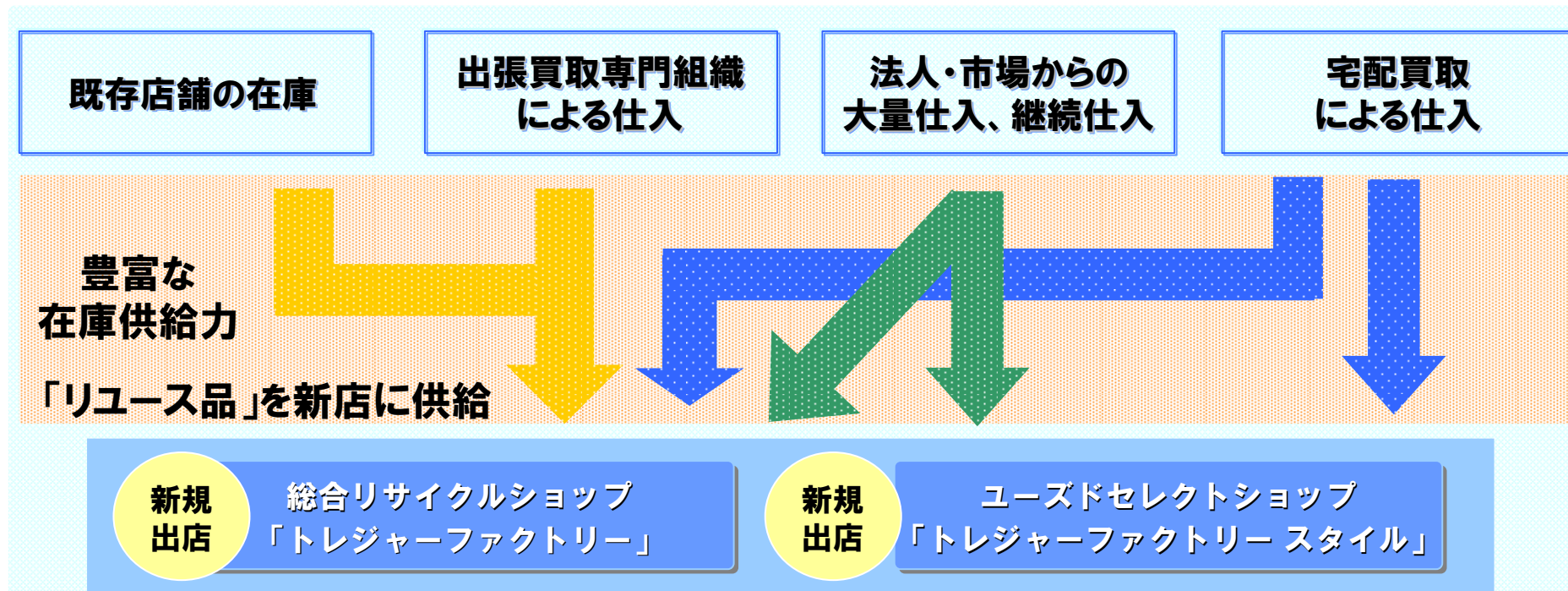
×
強力な販売力

「フラッと買い」を
促す仕組み

年代・商品ニーズを問わず、幅広い人が楽しめる品揃え

当社の特徴 豊富な仕入チャネル

多店舗出店を支える豊富な在庫供給力



新規出店成功のポイント

- 出店時に魅力ある「一品モノ」をスピーディーに集める
- 活きた売り場が魅力ある「一品モノ」を呼ぶ好循環を作り上げる

当社の特徴 独自開発のPOSシステム

10年を超える開発を重ねた独自ノウハウの詰まったPOSシステム

**POSデータから日々の結果を
「トレナビ」にてリアルタイムに共有**

※「トレナビ」…イントラネット

店舗の状況をリアルタイムに可視化

店舗スタッフがリアルタイムに現状把握、
顧客ニーズの変化に即時対応

**膨大な売買データを基にした
買取査定支援システム**

総合リサイクルショップならではの多種多様な
品物の査定を行う店舗スタッフを支援

**店舗スタッフの使い勝手向上を
目指したシステム**

システム連動による商品値札の自動発行

買取商品のPOS登録の省力化 etc

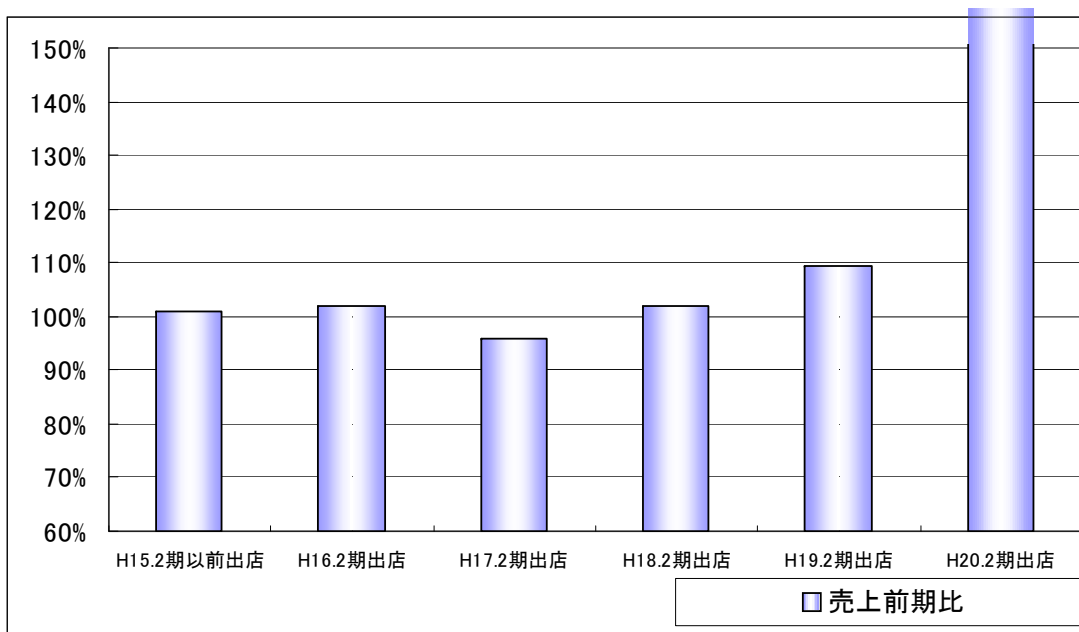
POSシステム＋分析ノウハウで他社と差別化

当社の特徴 新規店舗の成長モデル

店舗年齢を積み重ねるにつれ、収益力が上昇

➤ 大半の年齢区分で売上前期比100%を超えている

店舗年齢別売上前期比(H21年2月期実績)



店舗の成長の流れ

[店舗オープン]

- 知名度向上、リピーター獲得



[買取力アップ]

- 一品モノが揃うお店になる
- 常に商品が入れ替わる活きた店舗になる



- 飽きられない店舗
- 収益力が継続的にアップ

ホームページのご案内

- 店舗案内サイト（店舗のご紹介）
<http://www.treasure-f.com>



- スタイルWeb（服飾専門リサイクルショップ）
<http://www.tf-style.com/>



- 買取サイト（出張買取、宅配買取などのご紹介）
<http://www.treasurekaitori.com>



- 会社案内サイト（会社情報・IR情報）
<http://www.treasurefactory.co.jp>



お問い合わせ

E-Mail : tfir@treasure-f.com TEL : 03-3880-8822



「喜び」「発見」「感動」を提供するリサイクルショップ

株式会社トレジャー・ファクトリー

平成22年2月期 第1四半期決算説明資料

完